

令和元年度における四條畷市野外活動センターの管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 青少年育成課

評価対象：平成31年4月1日～令和2年3月31日

評価委員会開催日：令和2年9月17日

1 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人ナック
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）
施設概要	市民が余暇時間の活用として日常生活から離れ、豊かな自然環境の中で、森林浴や日光浴などを通じて、心身のリフレッシュを図るとともに、新たな仲間づくりやコミュニティづくりを進めることを目的とする。
指定管理料	13,200,000円（令和元年度）

2 管理運営の内容

項 目	令和元年度の状況
運営状況	<p>（1）平等利用の確保</p> <p>①利用申し込みの公平化と利便性を図るため、利用は電話で受け付け、利用料金や利用システムなどの情報を提供し、対象や活動内容を確認した上で利用者が活動しやすい場所への案内、プログラム支援などを行い、安全で安価に利用いただけるよう、すべての利用者に対して、公平・公正な対応に努めた。また、日中の申し込みができない方には、FAX やメールでの問い合わせにも対応した。</p> <p>②高齢者、障がい者など幅広い層の方々に等しく利用の機会を提供するため、利用者や活動内容、ニーズを配慮した活動場所の調整、利用のアドバイス、当日の援助に努めた。さらに、高齢者や障がい者の団体は、駐車場から近く比較的活動しやすい場所で活動できるよう配慮し、雨天時など臨機応変な対応を行った。スロープの草枝伐採や通路の清掃にも心がけ、グラウンド入口からスロープ近くまでを舗装修繕することで、車いすの方が行き来しやすく利用しやすい環境を整えた。</p> <p>（2）自主事業の展開</p> <p>①利用者がいつでも楽しめるプログラムを用意し、バーベキュー利用だけでなく自然体験プログラムを楽しんでいただけるよう努めた。夏季中心に提供した「竹を使った流しそうめん」は家族利用者に大人気だった。</p> <p>②ナックが指定管理を受けたのち新たに設置したピザ窯を活用したピザ作り体験プログラムは、バーベキュー利用時にお勧めしたり、自主事業で積極的に活用した。また、野外炊さんプログラムを充実させた。石窯で焼く「本格ピザ作り体験」や「ダッチオーブンでパン作り」「ダッチオーブンでの鶏の丸焼き」「餅つき」、夏季は「竹の流しそうめん」も体験プログラムとして提供した。これらにより、利用者は様々な「食」に関するプログラムを体験できるようになり、職員の指導のもと、日頃体験できない野外メニューを自分たちで作り、楽しめるようにした。</p> <p>（3）施設の情報提供</p> <p>①ナックの「四條畷市立野外活動センターのホームページ」を一新し、特に「Facebook」「Instagram」は、施設や自主事業の情報だけでなく、四條畷の自然、天体、近隣情報などの情報を頻繁に更新することで、自然や野外活動に関心を持っていただけるよう努めた。</p> <p>利用促進活動としては、SNS での事業情報の発信だけではなく、ダイレクトメールの発送（案内を希望されている方のみ）、市内公共施設や保育所・こども園にチラシや施設の機関誌の配布などを実施した。</p> <p>②近隣施設には、施設のリーフレットや事業案内チラシを設置いただき、一方、近隣宿泊施設の情報を提供するなどの連携に努めた。また、学校団体の校外学習行事などで「クラス作り」を目的としたデイキャンププランを作成し広報をしている。</p>

運営状況	<p>(4) 安全確保対策</p> <p>①施設管理における各種マニュアルを備え、それに沿った対応を図るよう常に努めているが、事故があった際の対応としては、事故等管理体制を基に対応するようにしている。なお、自主的に行っている消防訓練の際には、AEDの取扱いについても熟知するよう努めている。</p> <p>②繁忙期の駐車場所として、施設向かいの臨時駐車場を活用しているが、逢坂生駒口線の交通量が多く、奈良県側からは、道路の構造上見通しが悪い状況にある。大きな事業では交通警備員を雇い、日常では可能な限り職員が誘導するなど安全面の確保に留意している。</p>
維持管理状況	<p>(5) 保守点検</p> <p>①職員の出勤時・帰宅時には、サイト内点検を行い、施設内に異常がないか、日々の確認と点検に努めている。破損箇所は職員の作業で簡易補修、または業者の修繕とし、利用者が安全で安心な環境で野外活動を楽しんでいただくための整えに努めた。また、職員の指導のもと、天体機器に精通している市民ボランティアによりメンテナンスを行い、天体棟にある天体機器すべてを、いつでも活用できるよう整えた。</p> <p>(6) 清掃業務</p> <p>①利用受け入れ前、利用者が快適に活動できるよう、活動場所の清掃は、日々職員で実施している。利用者活動中に現場の様子を見に行き、炊事場の水場三角コーナーの生ゴミの処理や、トイレの点検なども実施している。野外の施設であっても人為的に清潔に保たれ、衛生的なキャンプ場であるように努めている。土日等の多くの利用後は、ゴミ拾いを行い、キャンプ場内にゴミがないよう努めている。</p> <p>(7) 警備業務</p> <p>①職員帰宅後の夜間警備及び火災警備は業者に委託している。</p> <p>(8) 環境への配慮</p> <p>①日頃エアコンなどの運転は控え、利用者の居ない時は事務所の電気を節約するなどの経費削減に努めている。利用者にはごみの分別を促すなど、施設として考えられる取組みを継続。段ボール、ペットボトル、缶類等の資源等については、適切な業者を選定し、リサイクルに努めている。</p>
利用状況	<p>【2月29日から3月31日まで、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館】</p> <p>年間利用者数は、日帰りが12,598人、宿泊が587人の合計13,185人の利用であった。前年度と比較し、日帰りは102人の増加、宿泊は223人の減少となった。日帰りは学校単位による多人数での利用があったことにより増加し、宿泊は夏季の天候不良及び新型コロナウイルス感染症予防対策で3月に施設を閉鎖しており宿泊の試行実施ができなかったことが影響している。</p>
収支状況	<p>収支は、前述した閉鎖により3月の利用料収入がなかったため、87,035円の赤字であった。</p>

3 利用者へのアンケート調査

項目	令和元年度の状況
調査の実施内容	<p>期間：平成31年4月1日～令和2年2月28日</p> <p>対象：施設利用者</p> <p>調査方法：利用者（家族、団体の代表）にアンケートを配布</p> <p>回答件数：188件</p>
調査の結果	<p>施設を何で知った：「以前から」119件、「広報」5件、「チラシ・ポスター」：0件、「友人」：15件、「ホームページ」：38件、「SNS」：0件、「情報サイト」：7件、「その他」：3件</p> <p>施設の印象・雰囲気：「良い」157件、「普通」31件、「良くない」0件</p> <p>職員の対応：「良い」165件、「普通」23件、「良くない」0件</p>

主な苦情・意見等	苦情は特になく、スタッフの対応、協力やアドバイスに感謝する意見が多数寄せられている。
----------	--------------------------------------------

4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5 ●4 ○3 ○2 ○1
講 評	<p>宿泊型子どもキャンプに看護師が在中するようになったのは大変良い。加えて、AEDを含む各種救急処置の研修も充実させていってほしい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響以外にも、酷暑や台風の影響による宿泊イベントの減少などで、宿泊利用者が減少、また天体観測の利用者も大きく減少している。しかしながら、個人の日帰り利用は増加しており、自主事業の充実を含め管理者の努力が窺える。市内小中学校でも、広く利用されるとなお良い。</p> <p>以上の内容から、「計画内容をやや上回るために努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

(参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果